

裾野市民文化センター 現場検証計画書

・日時：2023年2月8日 13:30～17:30

・参加者：裾野市事故調査委員会、ニッセー防災(株)、日本ドライケミカル(株)

NO.	所要時間	検証項目等	概要	主要手順	人員配置	準備事項	備考
0	9:00 ～ 12:00	事前準備	現在、設備が休止中（ポンプ電源断、バルブ閉）なので、これを正常に戻し、圧力計等を設置する	①テスト弁の漏水状況確認（2022年11月の点検では漏れあり） ②ポンプアップ ③系統3の一斉開放弁の漏水状況確認（2022年10月に漏れ発見） ④圧力計設置 ⑤テスト弁2次側20Aプラグ部に継手取付（20Aプラグ部からハンドポンプで加圧するため）	-	・圧力計（単管、コック付き） ・20 - 15Aブッシング（20Aプラグ部からハンドポンプ加圧用） ・ホース（同上） ・バケツ ・ハンドポンプ ・無線 3台 ・ストップウォッチ	
1	13:30 ～ 14:00	設備概要/点検手順説明	設備の外観を見ながら設備の概要、仕組み、点検手順を説明	下記を目視で確認しながら説明 ①ポンプ室 ②手動起動弁 ③アラーム弁 ④一斉開放弁・テスト弁廻り ⑤漏水チェック箇所 ⑥その他ご要望箇所	-	・図面 ・点検手順書	説明者：
2	14:00 ～ 14:15	・一斉開放弁作動点検作業（1系統） ・一斉開放弁作動時の圧力変動測定	・実際に1系統の一斉開放弁作動点検を実施 ・一斉開放弁開放時の減圧量を測定	・作業手順は別紙「一斉開放弁作動点検手順書」の通り ・アラーム弁の圧力計で減圧量計測（動画撮影） *実施系統は系統1か3	・ポンプ室1名 ・一斉開放弁1名 ・アラーム弁1名 (iphoneで動画撮影)		説明者：
3	14:15 ～ 14:45	一斉開放弁の開放圧力確認	一斉開放弁の加圧水が導入されるシリンダを加圧し一斉開放弁が開放する圧力を計測する	①テスト弁を微開し加圧配管を徐々に加圧（状況によりハンドポンプを使用） ②一斉開放弁が開放したらテスト弁を閉鎖 ③一斉開放弁加圧水側に設置した圧力計で開放時の圧力を観測 *上記は一斉開放弁1次側圧力を下記2パターンで実施する A. ポンプ締切圧力 B. 0.64Mpa（誤放水当日の圧力） *実施系統は系統1か3	・ポンプ室1名 ・一斉開放弁1名 ・1次側テスト弁1名	・ハンドポンプ（加圧配管を昇圧）	説明者：
4	14:45 ～ 15:45	複数系統からの放水可能性の検証	1系統充水 & 他の1系統起動で両方起動するか	①系統1のテスト弁を微開し加圧配管を徐々に昇圧し、下記圧力まで充水・加圧（状況によりハンドポンプを使用） ②系統2のテスト弁を開放し系統1が起動するか確認 【加圧配管圧力】 A. 上記6. で確認した一斉開放弁が開放する直前の圧力 B. 左記Aの圧力から0.1Mpa低い圧力 C. さらに0.1Mpa低い圧力・・・と何回か繰り返し実施 *上記は一斉開放弁1次側圧力を下記2パターンで実施する A. 0.64Mpa（誤放水当日の圧力） B. ポンプ締切圧力（時間があれば実施） *実施系統は系統1と3	・ポンプ室1名 ・一斉開放弁1名 ・1次側テスト弁1名	・ハンドポンプ（加圧配管を昇圧）	説明者：
5	15:45 ～ 16:15	消火栓からの放水による汚泥等の確認	消火栓から放水し、汚泥等の有無を確認する	①任意の消火栓に試験用のホースを取り付ける ②消火栓起動ボタンを押し、消火栓を起動させる ③消火栓元弁を開放し放水する（汚泥等の排出を観測するため、白い布等で受ける） ④汚泥等の有無を確認	・ポンプ室1名 ・消火栓2名		説明者： ニッセー防災
6	16:15 ～ 16:30	各手動操作バルブのメーカー確認	バルブメーカーに調査依頼をかける前準備として製造メーカーを特定する	手動弁、テスト弁本体に記載されたメーカー名を確認	-		
7	16:30 ～ 17:30	総評			-		